

『横浜マラソン2023』事業報告



2024年1月25日

横浜マラソン組織委員会

「横浜マラソン2023」概要

名称 **横浜マラソン2023** (英文名: YOKOHAMA MARATHON 2023)

開催趣旨 スポーツ振興や健康増進に寄与し、経済波及効果やシティーセールス効果が期待できる「する、みる、ささえる」すべての人が楽しめる大会を目指します。

開催日 **2023年(令和5年)10月29日(日)**

主催 **横浜マラソン組織委員会**

横浜市、神奈川県、(公財)横浜市スポーツ協会、(一社)横浜市陸上競技協会
 横浜市スポーツ推進委員連絡協議会、横浜市町内会連合会、神奈川県走友会連盟
 (公財)神奈川県スポーツ協会、(一財)神奈川陸上競技協会、神奈川県実業団陸上競技連盟
 神奈川県スポーツ推進委員連合会、(一社)横浜青年会議所、(公財)よこはまユース
 (社福)横浜市リハビリテーション事業団、(公社)横浜市身体障害者団体連合会
 横浜商工会議所、(一社)横浜市商店街総連合会、(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー
 (一社)横浜市医師会、横浜港運協会、神奈川倉庫協会、(一社)横浜みなとみらい21
 (株)横浜国際平和会議場、山下公園通り会、横浜エフエム放送(株)
 (株)アール・エフ・ラジオ日本、神奈川新聞社、(株)テレビ神奈川、(一社)神奈川県バス協会
 (一社)神奈川県タクシー協会、(一社)神奈川県トラック協会

主管 一般社団法人横浜市陸上競技協会

協賛 **オフィシャルパートナー**

E N E O S 株式会社
 株式会社ローソン、株式会社アマダ、日産自動車株式会社、アンダーアーマー
 株式会社杉孝グループホールディングス、株式会社京三製作所、日清オイリオグループ株式会社
 N T T 東日本、第一生命保険株式会社、レイズネクスト株式会社、アート引越センター株式会社
 カシオ計算機株式会社、東急グループ、アクエリアス、株式会社 J E P L A N
 リスト サザビーズ インターナショナル リアルティ、ダスキントール
 株式会社フォトクリエイト、横浜ハンマーヘッド、三菱地所グループ
 株式会社日立ハイシステム 2 1

横浜サポーター

株式会社横浜銀行、株式会社 J T B、古河電池株式会社、富士通株式会社
 株式会社両備システムズ、株式会社ありあけ、フィード・ワン株式会社、株式会社ネオジャパン
 株式会社日新、N P O 法人おれんじハウス、横浜バイクオーター、株式会社キタムラ
 資生堂グローバルイノベーションセンター (S / P A R K)、フクダ電子株式会社
 株式会社城山、プライムケア東京株式会社、フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、
 株式会社ミツハシ、RDC RUN CLUB、株式会社バイオマスレジンはールディングス
 カリフォルニア・レーズン協会
 <横浜ジュニアサポーター> よこはまコスモワールド

運営協力

横浜市スポーツ推進委員連絡協議会

協力

首都高速道路株式会社、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
パシフィコ横浜、相鉄グループ、京浜急行電鉄株式会社、横浜高速鉄道株式会社
東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社、クイーンズスクエア横浜、ハクビ京都きもの学院
(一社)横浜南部市場管理協会、国立研究開発法人海洋研究開発機構、横浜市交通局
横浜市消防局、横浜市水道局、(公財)横浜市緑の協会、ヨコハマSDGsデザインセンター

後援

スポーツ庁、観光庁、朝日新聞社、(公財)日本スポーツ協会

募集人数

種 目		募集人数	
フルマラソン	女性ランナー優先枠	6,000人	
	地元優先枠	横浜市民枠	2,000人
		神奈川県民枠	1,000人
	一般枠	14,100人	
	ふるさと納税枠	500人	
	チャリティ枠	400人	
	チャレンジ枠	500人	
ペアリレー		150組300人	
みなとみらい7kmラン		3,000人	
ファンラン (中学生)		100人	
ファンラン (ファミリー)		50組100人	
車いすチャレンジ		100人	
合計		28,100人	

※7～8月には、国外在住者枠(種目:フルマラソン、定員:1,000人)の募集を行いました。

申込結果

種 目		申込人数	倍 率	
フルマラソン	女性ランナー優先枠	2,521人	0.42	
	地元優先枠	横浜市民枠	6,215人	3.11
		神奈川県民枠	3,460人	3.46
	一般枠	16,194人※	1.15	
	ふるさと納税枠	65人	–	
	チャリティ枠	122人	–	
	チャレンジ枠	89人	–	
ペアリレー		261組522人	1.74	
みなとみらい7kmラン		6,256人	2.09	
ファンラン (中学生)		92人	0.92	
ファンラン (ファミリー)		574組1,148人	11.48	
車いすチャレンジ		109人	1.09	

※ 地元優先枠落選者は自動的に一般枠の抽選に移行するため、地元優先枠で落選される方
6,675人(地元優先枠申込者数-地元優先枠募集人数)を含む

競技結果等

ランナー出走人数等

種 目	出走人数	完走人数	完走率	備 考
フルマラソン	16,992人	16,001人	94.2%	2022大会は 92.1%
ペアリレー	235組 (470人)	227組 (454人)	96.6%	
みなとみらい7kmラン	5,158人	5,146人	99.8%	
ファンラン (中学生)	77人	76人	98.7%	
ファンラン (ファミリー)	62組 (124人)	61組 (122人)	98.4%	
車いすチャレンジ	83人	83人	100%	
合 計	22,904人	21,882人	95.5%	

ランナーの男女割合

項 目	割 合 ()は2022大会
男 性	76.0% (78.0%)
女 性	24.0% (22.0%)

ボランティア参加人数

項 目	人 数
2023大会	5,445人
2022大会	5,863人

沿道応援者数

項 目	人 数
2023大会	約47.1万人
2022大会	約43.0万人



ランナーサービス企画

給水パフォーマンス、ラッキー給食

14か所の給水所での応援パフォーマンスや、決まった時間に限られた個数を提供する、食べられたらラッキー!な給食など、ランナーを元気づける取り組みを行いました。



記念品

メダル、タオルなど、大会の思い出となる、出走者限定の記念品をお渡ししました。



公式パーティー

公式パーティーを開催し、大会パートナー各社様への感謝の品の贈呈等を行いました。

開催日	10月27日(金) 18:00~18:35(第1部)、18:45~20:00(第2部)
会場	横浜ベイホテル東急
参加者	オフィシャルパートナー・横浜サポーター各社 大会関係者ほか 約150人



大会期付帯イベント

横浜マラソンONLINE EXPO 2023

ランナー受付やコース紹介動画などのランナー向けコンテンツのほか、横浜のリアルスポットとEXPO上のオンラインのスポットを巡る「横浜マラソンデジタルスタンプラリー」など、どなたでも楽しめる内容で施しました。

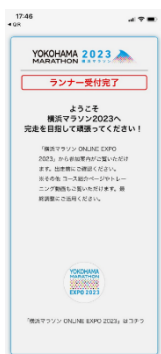
開催期間：10月19日（木）～10月30日（月）

合計 248,134PV



<主なコンテンツ>

ランナー受付



コース紹介動画



直前トレーニング



横浜マラソンTV



デジタルスタンプラリー



集めたスタンプ数（ポイント）に応じて景品が当たる！
横浜マラソンスタンプラリー

ウェルカムサービス

横浜マラソンで横浜を訪れた方へのおもてなしとして、コース周辺の商業施設や飲食店などと連携し、デジタルクーポンの提示でお得なサービスを提供する企画を実施しました。



開催日	10月19日(木)～29日(日)
参加店舗	305

横浜マラソンフェスタ2023

フィニッシュエリアのパシフィコ横浜臨港パーク内に、ランナーや観客に楽しんでもらえるブースや飲食コーナーを設置しました。

開催日	10月29日(日) 9:00～15:30
会場	パシフィコ横浜臨港パーク 芝生広場
出展社	21



関連イベント

大会当日以外にも大会関連イベントとして、マラソンが身近に感じられ、スポーツをすることの楽しさ・充実感が得られる取組や、環境への意識が高められる取組を実施しました。

目標タイム別ランニングクリニック

開催日	5月21日(日)、6月25日(日)、7月16日(日) 8月20日(日)、9月18日(月・祝)、10月8日(日)
会場	みなとみらい本町小学校、日産スタジアム 荒川戸田橋陸上競技場、臨港パーク
内容	座学(ランニングの基礎、効率的なトレーニング方法など) 実技(ランドリル・トレーニング)
参加者	1,273人(全6回)



UA WOMEN'S RUN CLUB i n YOKOHAMA

開催日	6月11日(日)、7月2日(日)、8月6日(日) 9月10日(日)、10月9日(月・祝)
会場	株式会社ドーム本社、横浜市スポーツ医科学センター みなとみらい本町小学校 など
内容	横浜マラソン2023完走に向けた実技・座学・ シューズフィッティングなど
参加者	64人 (全5回通し参加)



オンラインマラソン

開催日	7月1日(土) ~ 31日(月)、8月1日(火)~31日(木) 9月1日(金)~9月30日(土)、10月1日(日)~10月31日(火)
内容	G P S 走行機能を搭載したスマートフォンのアプリを利用し、 期間内に任意コースを42.195km走る
参加者	2,177人、完走者928人 (全4回)



親子 de FUN! RUN!

開催日	10月8日(日)
会場	パシフィコ横浜臨港パーク
内容	走の基礎動作、走力を養う体カづくり、miniマラソン
参加者	小学生と保護者 30組69人



横浜マラソンポップアップストア

開催日	10月8日(日)・9日(月・祝)	10月28日(土)
会場	みなとみらい駅みらいチューブ	桜木町駅 駅前広場
内容	参加賞Tシャツ・メダルや歴代大会関連グッズの展示 ランニングシューズの販売など	



横浜マラソン2023 スポG O M I @みなとみらい

開催日	11月5日(日)
会場	みなとみらい地区
内容	1チーム3~5人で力を合わせて、90分間の制限時間内に拾った ごみの「種類(質)」と「量」をポイントで競い合う
参加者	8チーム32人



SDGs

サステナブルな大会を目指し、SDGs達成に向けた各種取組を実施しました。

服のリサイクルシステムの構築



参加賞Tシャツは、BRING™と連携し、不要となったポリエステル繊維の衣類から独自のポリエステルリサイクル技術により再生された「BRING Material™」を一部使用した「BLANK APPAREL™」を採用しました。また、大会関連イベント時や大会当日の古着回収、スタート時の防寒着回収を行いました。



再生エネルギーの活用



10月29日の横浜マラソン会場における使用電力量及び大会組織委員会事務局での年間使用電力量に相当する20,000kwhのグリーン電力証書を購入しました。これにより、おおよそ9.1tのCO₂排出量を削減しました。



環境に配慮した制作物



植物由来素材を使用した参加者の手荷物預け袋や、お米でできたバイオマスプラスチックを使用したボランティア活動袋の製作など、温室効果ガスの排出の低減、石油資源の使用抑制、フードロスの削減につながる取組を展開しました。



電気自動車の活用



第1回大会より、先導車両には日産自動車株式会社の提供により排出ガスゼロの電気自動車（EV）がランナーを誘導しました。環境に優しいEVの採用により、CO₂排出量の削減に努め、よりクリーンで、より安全な大会運営に寄与しました。



リサイクルに向けた実証実験等



ヨコハマSDGsデザインセンターのプロジェクトパートナーとして、大会時に発生するゴミの資源化を目指し、回収したペットボトルからリサイクルペットボトルへの水平リサイクルを試行しました。

横浜市SDGs認証制度



(横浜市SDGs認証制度 / 私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。)

新たな競技種目の設置



子どもから大人まで幅広い世代が参加できる大会を目指し、新種目「ペアリレー」と「ファンラン」を実施しました。

各種イベントの実施



大会当日以外にも大会関連イベントとして、マラソンが身近に感じられ、スポーツをすることの楽しさ・充実感が得られる取組や、環境への意識が高められる取組を実施しました。



「横浜マラソン2023」大会コース

【フルマラソン・ペアリレー (42.195 km)】



「横浜マラソン2023」大会コース

【みなとみらい7kmラン】



【車いすチャレンジ・ファンラン（ファミリー・中学生）】



オフィシャルパートナー (22社)



横浜サポーター (22社)

株式会社横浜銀行、株式会社JTB、古河電池株式会社、富士通株式会社、株式会社両備システムズ株式会社ありあけ、フィード・ワン株式会社、株式会社ネオジャパン、株式会社日新NPO法人おれんじハウス、横浜バイクォーター、株式会社キタムラ
資生堂グローバルイノベーションセンター (S/PARK)、フクダ電子株式会社、株式会社城山プライムケア東京株式会社、フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、株式会社ミツハシRDC RUN CLUB、株式会社バイオマスレジソールディングス、カリフォルニアレーズン協会
【ジュニアサポーター】よこはまコスモワールド

「横浜マラソン2023」収支決算

(2023年1月1日～2023年12月31日)

収 入 869,651,723円

支 出 869,651,723円

差 額 0円

【収入】

【単位：円】

	費 目	予 算	決 算	差 引	備 考
1	参加料金及び協賛金	766,107,000	727,044,421	▲39,062,579	
2	自治体負担金	130,000,000	130,000,000	0	
3	その他	500,000	5,430,829	4,930,829	
	小計	896,607,000	862,475,250	▲34,131,750	
	前大会繰越金	7,176,473	7,176,473	0	
	合計	903,783,473	869,651,723	▲34,131,750	

【支出】

【単位：円】

	費 目	予 算	決 算	差 引	備 考
1	広報・イベント費	110,000,000	109,380,844	▲619,156	
2	安全対策費	355,000,000	349,227,109	▲5,772,891	
3	大会運営費	352,607,000	334,291,606	▲18,315,394	
4	システム関係費	35,500,000	34,125,329	▲1,374,671	
5	事務局経費	36,500,000	31,972,454	▲4,527,546	
6	予備費	7,000,000	0	▲7,000,000	
	小計	896,607,000	858,997,342	▲37,609,658	
	次大会繰越金	7,176,473	10,654,381	3,477,908	
	合計	903,783,473	869,651,723	▲34,131,750	